

今号の主な記事

市営住宅の入居者募集	2面
市職員(保健師、臨床検査技師など)を募る	2面
市立墓地の使用者を募集します	2面
「宮水ジュニア」のボランティア講師グループに登録を	2面

発行 / 西宮市役所 〒662-8567 西宮市六湛寺町10番3号
TEL / 0798-35-3151 (代表)

編集 / 総合企画局市長室広報課 TEL / 0798-35-3400

毎月10日(1月は1日)25日 2回発行

自然の中へ出かけて
生き物観察して
みましょう



「環境学習都市・にしのみや」をめざして



西宮市では、市民の皆さんが主体となった自然環境の保全や良好な環境を守るための取り組みが行われてきており、その考え方が昭和38年(1963年)の「文教住宅都市宣言」や平成4年(1992年)の市議会における「環境宣言」に関する決議として継承されてきました。

また、環境省の「こどもエコクラブ」の基本モデルとなった「地球ウォッチングクラブ(EWC)」など、地域に根ざした環境学習事業も推進しています。健全な地球環境を次世代に引き継ぐためには、市民や事業者が自らのライフスタイルや社会経済活動を環境保全の観点からとらえ直し、具体的な行動へとつなげていくことが求められています。このためには、子どもから大人までの各世代の市民

が、地域や学校、家庭、事業所などに於いて、日常的・継続的に環境学習が行えるよう、学習システムの開発や体験学習施設・フィールドの整備、学習活動をサポートする市民の育成などに取り組むことが必要です。

現在、市民・事業者・行政で構成する「環境学習都市推進市民会議」により、環境学習都市としての事業推進のあり方などについて検討を行っています。今年12月の「環境学習都市宣言」

甲子園浜では体験的環境学習が盛んに行われています

を契機に、21世紀にふさわしい持続可能なまちづくりを推進していきます。

問合せは環境都市推進課(0798・35・3479)へ。

アメリカ・バーリントン市長を招き

「記念シンポジウム」を開催

文教住宅都市宣言40周年・平和非核都市宣言20周年を迎える今年度、市は12月に行う、「環境学習都市宣言」を内外に表明するために、シンポジウムを開催します。

シンポジウムでは、持続可能な社会の実現に向けて、先進的な取り組みを行っている、バーリントン市(アメリカ・バーモント州)のピーター・クラベル市長を招き、同市の取り組みを紹介してもらいます。また、「環境学習都市」をテーマにパネルディスカッションも行います。シンポジウムは日英同時通訳で行います。

【日時・会場】10月29日 午後1時半から市民会館アミティホールで

【参加費】無料

【定員】約850人

【申込】八ガキに住所、氏名、電話番号を書き、10月20日(必着)までに環境

都市推進課(〒662-8567六湛寺町10番3号) 電話申込も可

環境学習ワークショップ

市と地球環境パートナーシッププラザ、こども環境活動支援協会は、シンポジウム翌日の10月30日に「環境学習ワークショップ」地域の力をひきだそう」を開催します。バーリントン市長による同市の事例発表(通訳付)を聞くほか、本

市長からのメッセージ



西宮市長 山田 知

10月の「環境学習都市宣言記念シンポジウム」では、バーリントン市長ピーター・クラベル氏に特別講演をお願いいたします。

このきっかけは、3年前から始まった環境学習事業を通じた同州と本市の市民団体間の交流に端を発しています。

バーリントン市では、環境教育を発展させた「持続可能性教育」という考え方を学校教育に導入し、また、市民、事業者、行政、NPO(非営利団体)、青年層などが協働して、30年後のまちのあり方を検討する「レガシープロジェクト」事業を展開しています。

本市とバーリントン市は、持続可能な社会に向けた取り組みを進めるための都市宣言を、12月にそれぞれのまちで行うことになっています。

ロゴマーク、作文コンテストの入賞者決定

本紙5月25日号で募集した、「環境学習都市にしのみや」ロゴマークと作文コンテストの入賞者が決定しました。前記シンポジウムで表彰式などを行います。

ロゴマーク・最優秀賞
東信慶さん(北九州市)
作文・優秀賞: 田中美帆さん(鳴尾北小6年)、尾崎絢果さん(浜脇中3年)、吉田万里さん(県立西宮高校2年)